

日本の伝統のリ・デザイン

実施日：平成28年2月15日～2月20日 於：ベラルーシ, エストニア

■ 派遣専門家



南木隆助
アーキテクト/プランナー

アーキテクト或はプランナーとして空間デザインからコンテンツ開発、展覧会企画、プロダクトデザイン、都市ブランディングまで幅広く活動を行い、代表作にパリ・国立ギメイ美術館における魯山人展、和菓子書籍「IKKOAN」等があります。文化がもつ今日的な価値を再度見直して再構成する作品作りを行われています。

■ 事業概要

● ベラルーシ



ミンスク市歴史博物館分館での講演会



和菓子書籍，展示模型，干菓子の展示



立ち見が出るほどの盛況

● エストニア



TTKタリン応用科学大学での講演会



E. レンドTTK学長からの挨拶



記者によるインタビューの様子

■ 実施結果

古い文化をどう解釈して、現代あるいは未来につなげるか「文化のリ・デザイン」と言える取り組みについて、魯山人展、和菓子書籍の制作などの例を用いて、学生・美術関係者等に向けて講演会を行いました。大学・美術館関係者から今後の展示会実施の可能性の打診等があり、大学・専門学校からは、人物交流を行いたいという希望も寄せられました。ベラルーシでは、国営テレビ・ラジオ番組でインタビュー内容が放送され、エストニアでは、建築・インテリア専門雑誌「IDEE」デザイン誌「Diivan」文化雑誌「Sirp」等の取材も行われました。日本の魅力を広く伝えると共に、今後の具体的な交流につながる事業となりました。